

保環研だより

2008年5月
No.127

CONTENTS

近年の島根県における光化学オキシダントの状況について …	1~2
「環境問題はウソ」を憂う ……………	2
はしかにならない！はしかにさせない！ ……………	3
平成19年度食の安全安心に関する出来事 ……………	4
18年間の斐伊川負荷量の変化 -中国大陸からの窒素負荷- ……………	5
放射線モニタリングと宇宙線と太陽 ……………	6
第22回保健環境科学研究所研究発表会を開催しました ……………	7
学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表 (平成20年1月～平成20年3月) ……………	8



近年の島根県における光化学オキシダントの状況について

1. はじめに

2007年5月8-9日、島根県では光化学オキシダントが高濃度となり、注意報発令はありませんでしたが注意報レベルの濃度(0.12ppm)に達する地域も見られました。この時、全国各地でも光化学オキシダントが高濃度となり21都道府県で光化学オキシダント注意報が発令されています。近年、都市域以外の地域でも高濃度現象が観測されるようになり、各自治体において、その原因解明や対策が重要な課題になっています。

全国および島根県における光化学オキシダントの現況と島根県の取り組み状況を紹介します。

2. 全国の状況

光化学オキシダントの環境基準(0.06ppm)の達成状況は達成率が約0.2~0.5%と極めて低い水準で推移しています。また、光化学オキシダント注意報等発令地域は、近年九州や日本海側の複数の自治体で初めて注意報が発令されるなど広域化しており、2007年度の発令地域は28都府県で過去最多となりました(環境省)。

3. 島根県の状況

島根県においても、全測定局で環境基準を達成できない状態が続いています。年平均濃度も長期的には増加傾向が認められますが、2000年度以降は概ね横ばいで推移しています(図1)。し

かし、表1に示すように、2000年度以降、注意報レベルの濃度に達する事象が5事例あり、光化学オキシダントによる健康影響が懸念されます。

島根県の高濃度事象の特徴は、地域的には県西部に多く、時期的には春期(4~6月)において17~18時の時間帯にピークとなることが多いようです。高濃度になる原因については、アジア大陸からの移流や県外からの移流が示唆されています。

4. 県としての対応

このような状況を踏まえ、島根県では光化学オキシダントの高濃度時に適切かつ迅速な対応を行うために、今年3月、防災メールによる注意

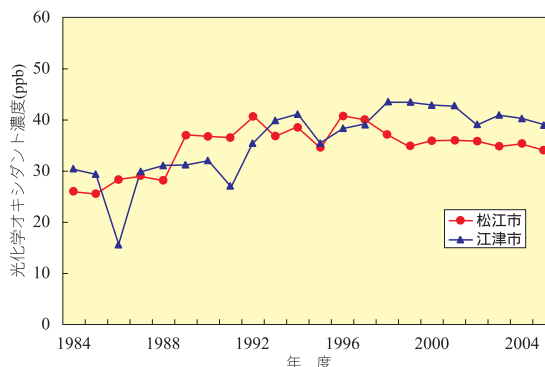


図1. 島根県における光化学オキシダント年平均濃度の経年変化

報等の情報発信や全市町村を対象とした注意報等発令など「島根県大気汚染緊急時対策要綱」の改定を行い、体制強化を図りました。

また、当研究所では、光化学オキシダントを研究テーマとした国立環境研究所と地方環境研究機関との共同研究に参加し、光化学オキシダントの動態解明に関する研究に取り組んでいます。2007年5月

8-9日の事象では、注意報レベルの高濃度地域が5月8日は九州北部から中国地方、5月9日には東側に広がり瀬戸内から東日本の広範囲に分布していたことが本研究により分かりました。

島根県の大気汚染状況は、インターネットにより県のホームページ (<http://eco-shimane.jp/>) でご覧いただけます。(大気環境グループ 佐川竜也)

表 1. 島根県における光化学オキシダントの高濃度事象

NO.	年 度	発生時刻	終了時刻	0.11~0.12ppm	0.12ppm以上
1	1996	5/25 17:00	5/26 16:00	益田、浜田	益田、浜田
2	1997	4/13 14:00	4/14 14:00	益田、浜田、松江	浜田
3	1997	4/25 23:00	4/27 18:00	益田、浜田、江津	浜田
4	1997	6/1 16:00	6/1 17:00	益田、浜田	
5	1997	6/12 13:00	6/12 18:00	益田、浜田	
6	1997	6/30 18:00		浜田	
7	1997	8/23 17:00	8/24 20:00	浜田	浜田
8	1998	5/22 15:00	5/22 18:00	益田	
9	1998	5/28 13:00	5/28 14:00	浜田	
10	1999	5/8 15:00	5/8 19:00	益田、浜田	
11	1999	5/22 13:00	5/22 16:00	益田、浜田、江津	
12	2003	6/6 16:00	6/6 18:00	益田、浜田、江津、安来	安来
13	2004	6/16 12:00		出雲	
14	2006	5/31 19:00		安来	安来
15	2007	5/8 12:00	5/9 8:00	浜田、江津、大田、出雲、隠岐	浜田、江津、隠岐
16	2007	5/27 12:00	5/27 16:00	益田、浜田	

「環境問題はウソ」を憂う

所長 大城 等

近所に本屋ができました。自宅から歩いてほんの数分で夜11時まで開いているためこのところ日参しています。専門書の品揃えはそれほど多くないものの、広々とした店内に喫茶店やおしゃれな雑貨店も入っており、つつい長居してしまいます。入り口の近くに特設コーナーが設けられており、環境問題を扱った書籍が積まれています。その中でひときわ目立つのがアメリカの元副大統領で、かつてブッシュ氏と大統領の席を争い惜敗した、アル・ゴア氏の著した「不都合な真実」です。内容はご存じのとおり、地球温暖化の影響への警鐘です。アル・ゴア氏は一連の地球温暖化問題に対する啓発活動が評価され、ノーベル平和賞を受賞したことは皆さんご存じでしょう。一冊購入しました。気になったのは同じコーナーに環境保護の取り組みは間違いだらけであるといった内容の本が何冊か並べられていたことです。そのうちの数冊を立ち読みしたところ、何の根拠も示さず環境問題を否定しているものから、数字をあげて理由を説明し論証しており思わず引き込まれてしまうようなものまで様々でした。

科学的な根拠にもとづき現在の「環境問題」の問題を論じている場合は歓迎すべきだと思います。しかし、しばしばそのような内容の本であってもセン

セシヨナルなタイトルがつけられており、結果として「環境問題はないのだ」という誤ったメッセージが伝わってしまうのではないかと心配しています。企業や行政の環境対策は一定程度進んできており、これからは個々人がいかに生活の中で環境に配慮した行動を起こすかが重要だといわれている中、「環境問題の常識は全てまちがいの」なので、苦勞してまでリサイクルや省エネに取り組む必要はないのだという風潮が広がらないよう、我々地方の研究所も何をなすべきかを考えないといけなないと感じました。

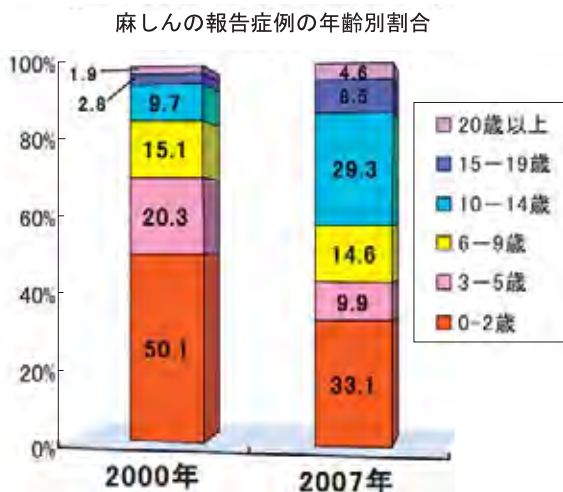
話はもとに戻りますが、「不都合な真実」のDVDを昨年1枚、今年になってからさらに1枚買って保存用に使っています。DVD版では映画制作後に明らかになった知見が特典として追加されており、さらに制作スタッフによる2種類の解説が副音声として収録されており、これも興味深い内容でした。DVDのパッケージにはこの映画がアカデミー賞2部門を受賞したことがかかれてありました。音声をMDに録音し通勤の行き帰りに聞いているうちに、そろそろ躊躇していたノーマイカーデーを始めないといけなかなと思っています。

はしかにならない!はしかにさせない!

去年の春からよくニュースなどで耳にするようになった“麻しん（通称はしか）”ですが、麻しんは子供の病気でみんながかかると一般的に思っていますか？

麻しんは患者の咳、くしゃみなどを介して感染するウイルス感染症で、感染力が非常に強く免疫を持たない人が感染した場合はほぼ100%発症します。また、合併症などを起こす確率も高く死に至ることもある重い疾患です。

これまでは麻しん患者の多くを2歳以下の小児が占めていましたが、去年は10～20歳代で麻しんが流行し多くの高校、大学などで休校措置などがとられました。



去年の10～20歳代での流行を受け、平成24年までの麻しん排除を目標として“麻しん排除計画”が策定され、これに基づいて平成20年から麻しん対策が強化されました。主な対策は以下の2点です。

1. ワクチン1回接種世代への2回目のワクチン接種の実施

今の10～20歳代では、ある一定数の割合で

- 免疫を全く持っていない人（ワクチン未接種で一度も麻しんにかかったことがない人）
- 不十分な人（ワクチンを打っても時間が経過して免疫が低下した人）
- 1回のワクチンで免疫が得られなかった人

が存在します。去年の流行がこれらの人の間で起きたものと考えられるため、ワクチン未接種の人や1回目で免疫が出来なかった人に免疫を与えることと、すでに免疫のある人も強化することを目的として平成20年4月よりワクチン1回接種世代を対象に2回目のワクチン接種が実施されることになりました。これにより平成20年4月からの麻しんワクチン対象時期は、1期：生後12ヶ月～24ヶ月、2期：小学校入学前の1年間、3期：中学1年生相当世代、4期：高校3年生相当世代となります。（3期、4期は平成20年～24年の5年間限り）

2. 麻しんの全数報告の開始

麻しんはこれまで、定点報告として流行状況を把握してきましたが、平成20年1月1日から流行状況をより正確に把握し必要に応じてまん延防止対策を取るため、すべての医療機関において麻しん患者を診断した際には保健所への届出が必要になりました。

麻しん排除に向けて最も重要なことは、ワクチン接種であり、95%以上のワクチン接種率が必要です。島根県の平成18年度のワクチン接種率は、1期：85.7%、2期：83.1%と目標とする95%には達しておらず、更なる接種率の向上が望まれます。

麻しんは通常春から夏にかけて流行がみられますが、今年はずいぶん早く関東地方などで麻しん患者が増加し始めており、10～20歳代が患者の約7割を占めています。これから夏にかけて流行する時期になるため、新たにワクチン対象になっている3期、4期対象者はもちろん、1期、2期の対象の人にも早めにワクチン接種を済ませるようにしましょう。特に、麻しんは0歳から2歳の間でかかることが多く、かかると重症化しやすいため1期のワクチンは1歳のお誕生日のプレゼントとして1歳になったら早めに接種されることをお勧めします。

（ウイルスグループ 小村 珠喜）

平成19年度食の安全安心に関する出来事

平成13年8月、千葉県において国内初のBSE感染牛が確認されて以来、全国的に食の安全安心に対する関心が高まり、その後食の安全に関する法律の新設と食品安全委員会の設置、食品衛生法の大改正が実施され、リスク分析に基づいた食品安全行政が進められてきました。にもかかわらず、食品表示の偽装や中国製冷凍ギョーザ事件など平成19年度も食の安全安心に関する大小様々な事件が発生しました。そこで、昨年度発生した食の安全安心に関する事件等についてまとめてみました。

- 4月 スギ花粉入り食品によるトラブルの多発
 - 5月 米国でジエチレングリコール混入中国製歯磨き問題発生
 - 6月 ミートホープ社による「牛ミンチ」への豚肉混入事件発覚
米国で中国製食品、玩具などの自主回収相次ぐ
 - 7月 中国でのダンボール入り肉まん事件など中国国内における食の安全に対する不安が高まる
食品安全委員会が「中国産食品等に関する情報」を発信
賞味期限切れ冷凍マグロの販売、豪州産を国産と偽る偽装牛肉事件などが発覚
 - 8月 中国産食品安全確保について日中両国間で連携協議することを確認
石屋製菓による「白い恋人」など賞味期限偽装をはじめ、食肉加工食品での偽装表示、日付表示偽装、タケノコ水煮やシジミの産地偽装などが全国で相次いで発覚
学校給食での中国産食材不使用の動きが全国的に広がり始める
 - 9月 イカの塩辛を推定原因とする腸炎ピブリオ食中毒の発生
国は20カ月以下の牛についてBSE検査を一齐に終了する方針を示す
袋詰精米の不正表示、うなぎの産地偽装などが発覚
 - 10月 「名古屋コーチン」、「比内地鶏」、「赤福餅」、「船場吉兆」など産地偽装、賞味期限表示などの偽装表示問題が全国的に次々と発覚
 - 11月 マクドナルドでの調理日時の張り替えによる賞味期限切れ商品の販売が発覚
 - 12月 食品の偽装表示、不適正表示、おでん・弁当などでの消費期限切れの食材の使用や販売の発覚
中国製茶わんからホルムアルデヒドを検出し、回収
国は生活安心対策を決定し、農水省に食品表示Gメン新設など不正監視を強化する方針を示す
フグの取扱いについて誤解を招く不適切な番組の放送
 - 1月 中国製冷凍ギョーザによる健康被害の発生 農薬のメタミドホスを検出
国は偽装事件続発への対応として行政組織一元化に向け「消費者庁」の創設を検討開始
 - 2月 国は消費者行政一元化に向け「消費者行政推進本部」設置するとともに、関係各省に「食品危害情報総括官」を新設、さらに輸入冷凍加工食品の農薬検査を開始した
給食用の中国産マッシュルームで異臭、健康被害発生
中国製冷凍食品からメタミドホス、ジクロロボス、クロロピリホス、ホレート、パラチオン、ベンゼンなどを検出
国は冷凍ギョーザ事件に端を発した食品事故の再発防止策として保健所による24時間対応を検討
また、加工食品の輸入に関する指針を策定するとともに、食品の被害情報について業者からの保健所への報告を義務づける方針を示す
 - 3月 中国製冷凍ギョーザに関連し、千葉で検出のメタミドホス濃度が残留基準値の1万倍以上であったことが判明
東京都は国内製の冷凍加工食品の原産地表示について原材料ごとに明示するように義務化
アブラボウズを高級魚クエと偽って販売する事件が発覚
内閣府は、「消費者安全課」を新設し、製品や食品事故の対応強化を図る
- その他、輸入食品に関する農薬、動物用医薬品、有害物質の残留事例や自然毒食中毒の発生が毎月のように報道された。

平成19年度の状況は、平成12年に雪印製の加工乳による食中毒事件が発生に引き続いた異物混入などにより全国的に食品の自主回収が相次いだ時に似ています。しかし、自主回収の理由は偽装表示など消費者を裏切る行為によるものに変化しています。平成15年5月、消費者の視点に立ち食品衛生法の大改正が行われ、「食品等事業者の責任」が明確となりました。しかし、平成19年度の出来事をみると食品を取り巻く状況はほとんど変わっていないか、むしろ悪くなっているかもしれません。食品等事業者の責任は明確になったものの、食の安全安心に対する意識は十分ではないことがうかがえます。

今後は、食品等事業者の食の安全安心に対する意識向上対策、輸入加工食品対策、食品テロ対策、リスクコミュニケーションの充実、食品監視技術や食品分析技術の向上が一層重要となるものと考えます。

(食品化学スタッフ 専門研究員 来待 幹夫)

18年間の斐伊川負荷量の変化

— 中国大陸からの窒素負荷 —

1. はじめに

宍道湖では湖沼水質保全特別措置法に基づき、「宍道湖に係る湖沼水質保全計画」が策定されており、様々な水質浄化対策がとられています。しかし、宍道湖の水質は必ずしも改善されているとはいえません。なぜ宍道湖の水質は改善されないのでしょうか。宍道湖に流入する負荷量は実際どうなっているのでしょうか。そのことを知るため、私たちは宍道湖へ流入する最も大きな河川である斐伊川においてくわしい水質調査を行いました。

2. 方法

斐伊川は宍道湖流域の約70%を占めており、宍道湖水質に大きな影響を与えています。負荷量をできる限り正確に把握するには、なるべく頻繁な採水が必要となります。特にリンは出水に伴い大きな負荷が発生するので、毎日採水するのがいいと考えられています。1983年7月から1984年6月まで日曜祝日を除くほぼ毎日、神立橋において採水を行いました。それから18年後の2001年9月から2002年8月まで、同じ地点で同様に調査を行いました。調査項目は全窒素(TN)、全リン(TP)、流量などです。

3. 結果

1983年7月から1984年6月までの1年間の流量は $14.1 \times 10^8 \text{m}^3$ 、2001年9月から2002年8月までの1年間の流量は $14.3 \times 10^8 \text{m}^3$ とほぼ同じでした。なお、1983年度から2002年度までの年間平均流量は $13.7 \times 10^8 \text{m}^3$ であり、調査を行った2回はほぼ平均的な

年であったと考えられます。2回の調査結果から計算された負荷量は、TNが857トンから922トンへ上昇し、TPが95.6トンから62.4トンへ減少していました。TPはかなり減少しており、施策どおり削減が図られたと思われます。しかしTNは上昇していました。流域の浄化対策で最も効果的なのは家庭排水を集合処理(下水道、農集等)することですが、これは徐々にですが普及率は年々上昇しています。この流域では、集合処理に高度処理型の活性汚泥法などが多く用いられており、リンと同時に窒素も除去されるので、TN濃度が増加した原因は何かほかにあると考えられました。図1に松江に降る雨のTN濃度の経年変化を示します。測定値の分布はTN濃度が上昇傾向にあることを示しています。夏季(7~9月)のTN濃度はほぼ横ばいで推移し、冬季(1~3月)のTN濃度は夏季に比べて2倍以上高く、しかも上昇傾向にあります。ちなみに宍道湖上層のTN濃度は約 0.5mg/l ですので、いかに冬季の雨の濃度が高いかわかりでしょう。TN濃度に夏季と冬季で大きな差が見られるのは、気圧配置が違うため、冬季は中国大陸からの気塊が到来しやすくなります。中国では年々化石燃料の消費が増大しています。中国大陸で化石燃料の燃焼等で発生した硝酸やアンモニアが斐伊川流域に到来した後、雨に取り込まれて落下し、川のTN濃度を上昇させている可能性が考えられました。今後は流域内部だけではなく、外部からの「越境負荷」を考慮に入れる必要があると思われました。

(水環境グループ 神谷 宏)

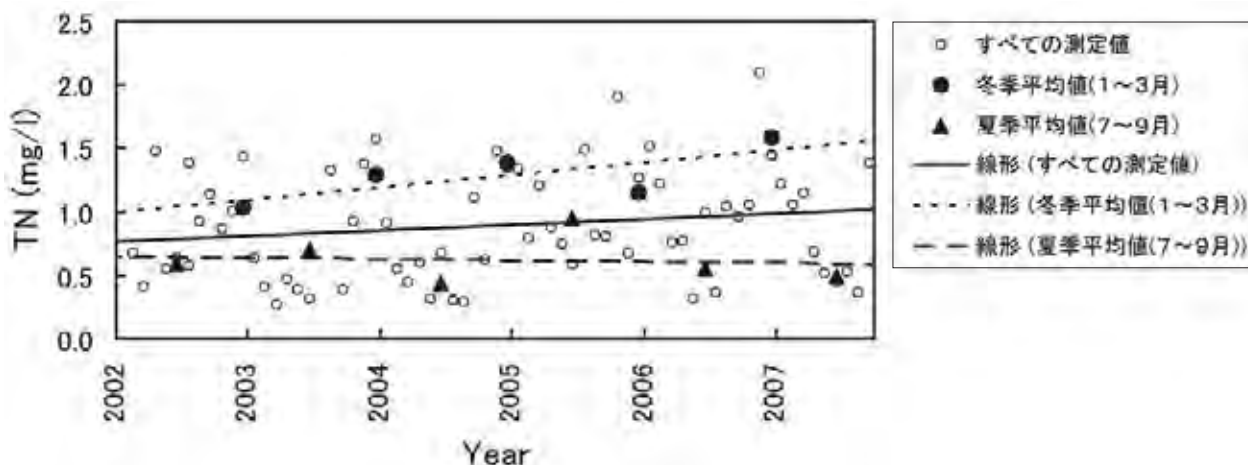


図1 降水中のTN濃度の経年変化

* 出典：日本陸水学会第72回大会講演要旨

放射線モニタリングと宇宙線と太陽

平常時のモニタリングでは、自然放射線について知っておくことが必要

当センターの主な任務は、原子力発電所周辺の環境放射線モニタリングです。ただ、平常時においては、測定結果のほとんどが自然放射線からの影響によるものですから、その中に発電所からの影響が含まれていないかを正しく判断するためには、自然放射線についてもよく知っておく必要があります。

その自然放射線から人間が受ける被ばく線量は、国連科学委員会の報告では、全世界平均2.4ミリシーベルト/年と見積もられています。これを大きく2つに分けると、①地球大気に入ってくる宇宙線が起源となるもの（全体の約16%）と、②地球環境の至るところに元々ある自然放射性核種が起源となるもの（全体の約84%）となります。

今回は、この宇宙線と環境モニタリングとの関わりについての話題です。

宇宙線って？

宇宙線とは、宇宙空間を飛び交っている高エネルギーの粒子のことです。

宇宙は137億年前にビッグバンにより始まりましたが、その間たくさんの星が生まれては死んでいます。太陽の8倍以上の重さの星では最後に超新星爆発という大爆発をおこして一生を終えますが、このとき宇宙に宇宙線として高エネルギーの粒子を放出するため、この宇宙線が太陽系にも降り注いでいます。

太陽のシミは元気のもと？

太陽には黒点があって、11年周期で増減を繰り返していることは良く知られています。この黒点は、その表面温度が周囲より低いいため黒く見えていますが、実はこの黒点がある時の方が太陽活動が活発で、その度合いは、ほぼ黒点の数に比例しています。このとき特に強まるのが磁場で、地球の周囲の磁場にも影響を与えています。



太陽の黒点写真

宇宙線の作用でBe-7（ベリリウム7）という放射性核種が生まれる

環境中の放射性核種を調査すると、その中に、地上起源でなく宇宙線の作用で生まれたBe-7（ベリリウム7：半減期53日）という核種がたびたび検出されます。このBe-7は、地球上空の成層圏で、空気の成分である酸素や窒素の原子核が宇宙線により壊されて生み出されます。

図に松江市西浜佐陀町でのBe-7の年間降下量と太陽黒点数（理科年表）の経年変化を示しました。Be-7降下量は太陽黒点数が多いときに少なく逆に黒点数が少ないときに多くなる逆相関となっており、データ数はもう少し必要ですが、太陽黒点数と同じく11年周期で増減していると思われます。

なぜ逆相関？

宇宙線は多くが陽子、電子、ヘリウムの原子核で、これらの粒子は電荷を持っていますから、磁場があると真っすぐ進むことができません（フレミングの左手法則）。

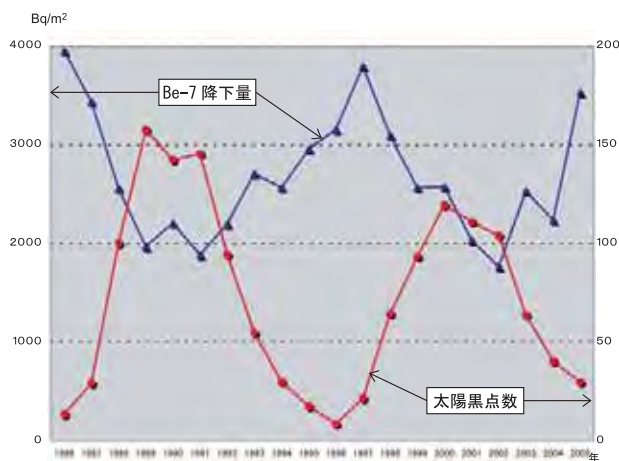
つまり太陽黒点数が多い時は、太陽磁場が強化される影響で宇宙線は地球に到達する前にコースを曲げられてしまいます。このため、成層圏での宇宙線の数が減少しBe-7の生成も減少してしまいます。

このように、地上で放射能を測定するだけでも、太陽や宇宙のことをちょっとだけ理解することもできるのです。

ちなみに、太陽は50億年後に膨張して地球をのみ込み、最終的には白色矮星になって一生を終えます。

（原子力環境センター 生田美抄夫）

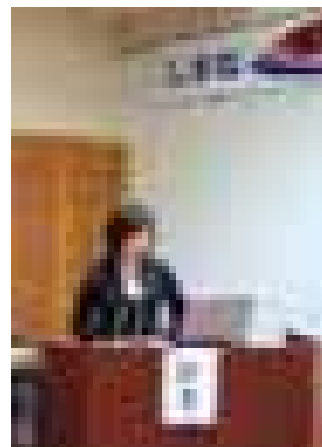
白色矮星：太陽程度の質量を持つ恒星は、末期に膨張して赤色巨星となった後、外部が宇宙空間に放出され、白く輝く中心核のみの恒星になる。



図：松江市でのBe-7降下量と太陽黒点数の経年変化

第22回保健環境科学研究所 研究発表会を開催しました

平成20年1月30日（水）、島根県民会館において保健環境科学研究所研究発表会を開催しました。真冬の寒い時期にかかわらず、約120名の方々の参加をいただきました。今回は平成19年5月初旬、宍道湖の周辺で発生したカビの原因究明に係わる研究状況の報告として「宍道湖のカビ臭を考える」と題した発表をしました。参加者の方々の関心が高く活発な議論が尽くされました。また、この他に麻しんや、光化学オキシダントなど、平成19年度に話題となった事柄についても発表しました。発表会で検討いただきました内容やご意見については、今後の研究に是非反映させたいと考えております。



(麻しんについて発表した小村研究員)

◆原子力事故に備えた環境調査地点における ガンマ線現場測定法による平常時の測定結果

原子力環境センター 生田美抄夫

万一、原子力発電所で事故が起こった場合には、有効で適切な対策を立てるために、事故による影響を出来るだけ早く把握する必要があります。その際に、ガンマ線の現場測定法は、測定地点の周辺にどのような放射性物質がどれだけあるかを短時間で把握できる方法です。今回は、発電所事故の場合に備えてあらかじめ定められている環境調査地点において、このガンマ線の現場測定法で平常時の状況を測定した結果を報告します。

◆島根県では、光化学反応のない夜でも オキシダント濃度が高くなるのはなぜ？

一夜間のオキシダント高濃度現象に影響する気象要因の解析—

大気環境グループ 田中 孝典

光化学オキシダント上昇の原因を解明するために、オキシダントの生成が起らない夜間に着目して、中国大陸等からの大気の移流の観点からオキシダント濃度の変化について解析したので報告します。

◆麻しんをなくそう！！

—平成19年の島根県の麻しんの流行と対策—

ウイルスグループ 小村 珠喜

麻しんのまん延防止のためには、感染を「起こさない」「広げない」こと、つまりワクチン接種と、患者発生時に迅速な封じ込め対策をとることが重要です。島根県は平成19年3月に対策指針を策定し、当所も迅速で的確な診断のための検査等の役割を担っています。平成19年の10代、20代を中心に起きた麻しんの流行で、早期の対策により感染拡大防止につながった事例を紹介し、今後の麻しん対策の必要性について検討したので報告します。

◆子どもの“食”に影響するのは、何？

—島根県健やか親子アンケート調査結果より—

総務企画情報グループ 宮崎 直子

島根県では、『健やか親子しまね計画』の中間評価として、昨年度に1歳半、3歳児の保護者約1700名を対象にアンケート調査を実施しました。その結果をもとに、親の生活習慣や子育てに対する意識が、子どもの健やかな食習慣の確立とどのように関連しているかについて検討したので報告します。

◆宍道湖のカビ臭を考える

平成19年5月初旬、宍道湖の周辺で異臭（カビ臭）がする、シジミがカビ臭いなどの情報が、県や松江市に寄せられました。県が宍道湖の湖水を調査したところ、カビ臭の原因物質の一つであるジェオスミンを検出しました。

当所では、湖水のジェオスミン濃度の推移やジェオスミンを産生する原因生物と推定される放線菌の出現状況などを、一年を通じて調査し実態を把握することにより、カビ臭発生時の対応などに役立てるため、調査を続けているところです。

・宍道湖の水と泥からのカビ臭

水環境グループ 福田 俊治

平成19年5月以降、宍道湖の水と泥についてカビ臭の原因物質であるジェオスミンの濃度を監視しています。その濃度の現在までの推移について報告します。

・人の嗅覚による水の臭気と大気臭気の評価方法

大気環境グループ 多田 納 力

水の臭気を測定するための嗅覚測定法によって、カビ臭を感知できる濃度について検討しました。また、カビ臭の発生と分布状況を把握するために、宍道湖周辺の多数地点で臭気強さを判定しました。嗅覚による測定法と評価法について紹介します。

・ジェオスミンの毒性について

食品化学スタッフ 持田 恭

ジェオスミンなどのカビ臭原因物質に関する毒性情報はまだ十分でない。そこで、試験管内で培養した哺乳動物の培養細胞（ヒト、サル、イヌ由来）を用い、今回の湖水中の高濃度レベル（700ng/L）におけるジェオスミン毒性について検討したので報告します。

・カビ臭と放線菌の関わり

細菌グループ 勝部 和徳

今回の宍道湖のカビ臭について、湖水中のジェオスミンが、いつ、どこで、どのようにして産生されているのかわからない点が多い。宍道湖の湖水、底泥を調査しジェオスミン産生生物である放線菌を分離したので報告します。

学会・研究会・研修会等の発表、論文・報告書発表 (平成20年1月～平成20年3月)

学会・研究会・研修会等の口頭発表

1) 平成20年1月24日(木)～25日(金)

第2回全国自然毒中毒研修会(発表会場:神奈川県民ホール(横浜市))

来待幹夫:「自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討」

■なお、これらの発表内容については発表者が直接お答えいたしますので、お気軽にお申し出ください。

多田納科長、全国環境研協議会で会長表彰

大気環境グループの多田納科長が、平成20年2月5日東京で開催された全国環境研協議会で会長賞を受賞しました。長年の大気環境分野全般にわたる調査研究の成果が評価されました。



(多田納科長は前列右から5番目)

平成20年4月定期人事異動

転出者			転入者		
新宮 和男	所長	(退職)	大城 等	所長	(雲南保健所から)
伊藤 準	原子力環境センター長	(退職)	黒崎 守人	細菌グループ科長	(出雲保健所から)
吉岡 勝廣	専門研究員	(退職)	和田美江子	専門研究員	(益田保健所から)
藤井 幸一	専門研究員	(退職)	長岡 克朗	専門研究員	(企業局西部事務所から)
勝部 和徳	細菌グループ科長(食肉衛生検査所へ)		来間 律夫	主幹	(薬事衛生課から)
糸川 浩司	専門研究員(薬事衛生課へ)		川中 章裕	主任	(東部福祉事務所から)
松浦 法幸	主幹(土地資源対策課へ)		神門 利之	主任研究員	(出雲保健所から)
野口 泰弘	主任(東部農林振興センターへ)		河原 央明	研究員	(益田保健所から)
北脇 悠平	研究員(企業局西部事務所へ)		野尻 裕樹	研究員	(新規採用)
			江角 真依	研究員	(新規採用)

編集発行: 島根県保健環境科学研究所
発行日: 平成20年5月

松江市西浜佐陀町582-1 (〒690-0122)
TEL 0852-36-8181 FAX 0852-36-8171
E-Mail hokanken@pref.shimane.lg.jp
Homepage <http://www.pref.shimane.lg.jp/hokanken/>

■島根県原子力環境センター
E-Mail genshiryoku@pref.shimane.lg.jp
TEL 0852-36-4300 FAX 0852-36-6683

